

武蔵野市地域防災計画（令和４年度修正）の進捗報告について

1 武蔵野市地域防災計画の推進について

武蔵野市地域防災計画の着実な推進を目指し、本部長を市長、副本部長を副市長・教育長、委員を各所管部長とした武蔵野市地域防災計画推進本部において、各部での施策の目標設定及び前年度の進捗管理を行っている。令和５年度からは、約７年ぶりの修正となった武蔵野市地域防災計画（令和４年度修正）を踏まえ、当該計画に記載されている事業を推進している。

2 令和６年度の主な取組について

(1) 家具転倒防止金具等購入費補助事業

地震災害の自助の取り組みとして効果が期待される家具転倒防止対策について、対象の器具を購入した世帯に対し、上限１万円までの補助を開始した。申請は、窓口（防災課・市政センター）や郵送に加え、電子申請での受付を実施しており、現在、申請の約６割は電子申請によるものである。なお、補助対象となるのは家具や家電の転倒、移動または落下を防ぐ器具である。事業の周知広報については、市報７月１日号１面への掲載、啓発チラシの全戸配布（市報９月１日号と同時期の配布）、啓発動画の作成等、様々な広報チャンネルを通じて実施した。武蔵野市民防災協会においても取り付ける器具の相談や販売を行い、申請まで案内できるよう連携を図った。

１１月末時点の申請は５１３件である。引き続き、市報等による広報活動を行い武蔵野市民の防災意識を高めていく。

(2) 実行性の高い訓練の実施・検証

防災安全部による初動本部運営訓練、市役所各部による災対各部図上訓練及び避難所開設運営訓練について、専門家による評価・検証を行い、地震災害等発生時における初動本部や災対各部の初動対応力の強化、避難所運営組織の役割の再認識及び市職員の災害対応能力や防災意識の更なる向上を図っていく。

令和６年度は、初動本部運営訓練を８月に防災安全部で実施、災対各部図上訓練を１１月に総務部、子ども家庭部、教育部で実施、避難所開設運営訓練を令和７年１月に１組織で実施する。

(3) 罹災証明書交付体制の整備

庁内関係課を集めて、罹災証明書交付体制整備庁内検討会議を設置した。令和6年7月に第1回、8月に第2回検討会議を開催した。発災から罹災証明書交付までの手続きのフロー（「被災者生活再建支援業務の手引き」）の作成を目標とし、各課の業務内容の確認と他課との業務連携に伴う情報共有・検討協議を進めた。令和8年1月に開催予定の第3回検討会議で被災者生活再建支援業務の手引き作成に着手する予定である。

(4) 被災地支援

令和6年1月1日の能登半島地震により被災した石川県輪島市及び7月25日の豪雨により被災した山形県酒田市（友好都市）へ物的・人的支援を行った。罹災証明書発行に係る受付事務等、被災地での活動を参考にしながら、本市における災害時体制を強化していく。

石川県輪島市への支援

【物的支援】

- ・令和6年1月5日（金）武蔵野青年会議所・東京吉祥寺ライオンズクラブによる運搬

ナチュラルウォーター（深井戸水）24本入り 85ケース（市備蓄品）

【人的支援（市職員派遣）】

- ・令和6年2月6日（火）～2月14日（水） 1名
支援内容：罹災証明書発行に係る受付事務、被災届出証明書発行事務
- ・令和6年4月9日（火）～4月17日（水） 1名
支援内容：罹災証明書発行に係る受付事務、被災届出証明書発行事務
- ・令和6年5月14日（火）～5月22日（水） 1名
支援内容：罹災証明書発行に係る受付事務、被災届出証明書発行事務

山形県酒田市への支援

【物的支援】

- ・令和6年7月30日（火）～7月31日（水） 市職員2名で運搬
ナチュラルウォーター（深井戸水）24本入り 85ケース（市備蓄品）
土のう袋1,000枚（市消防団より）

【人的支援（市職員派遣）】

- ・令和6年8月13日（火）～8月23日（金） 2名
支援内容：被災家屋等の被害認定調査
- ・令和6年8月26日（月）～9月2日（月） 2名
支援内容：避難所運営業務、災害ボランティアセンター運営支援等
- ・令和6年9月2日（月）～9月9日（月） 1名
支援内容：避難所運営業務、災害ボランティアセンター運営支援等
- ・令和6年9月9日（月）～9月16日（月） 2名
支援内容：避難所運営業務、災害ボランティアセンター運営支援等